

DREAMING

Heart of the Dreaming 私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています。

DREAMING INTERVIEW



ドリーミングインタビュー

消化器・
肝臓内科 **つちだ ひではる**
土田 秀治 先生

出身：新庄市

趣味：映画鑑賞

略歴：山形大学医学部附属病院、山形県立中央病院、
公立置賜総合病院

プロフィール



先生が医師を目指された理由を 教えてください

私の父親が医師で地元の新庄で開業しており、小さい頃から親の背中を見てきたので親の影響が大きいですね。5人兄弟なんですけど、そのうち3人が医師になり、父親と同じく全員が消化器内科の道に進んでいます。末っ子の私も自然と消化器内科医師の道に進んでいました。



診療の際に心がけていることは？

患者さんとの対話の際、医療関係者は知っていて当たり前でも、患者さんにとっては専門的

で難しい医療用語を使ってしまう時があります。診察後に分かりづらかったかなとか上手く伝わったかなとか振り返る時があるので、より分かりやすく伝わるような説明の仕方や言葉の選び方をしつつ、ちゃんと患者さんが理解しているのかを意識して日々の診療を行っています。



外来の様子を教えてください

看護師さんに頼りきっています（笑）。外来は毎週月曜日と木曜日、隔週金曜日に新患含め診察を行っており、様々な年齢層の患者さんが受診されています。病院ごとに受診の年齢層の特



徴が出てくると思いますが、東北中央病院はご高齢の方の受診が多い印象です。なので、聞き取りやすい言葉で、患者さん一人一人に合った説明の仕方を心がけて対応しています。



東北中央病院の印象は？

今年の四月から勤務して一番感じる事は、病院全体が一丸となって動いている印象があります。各診療科の中で完結してしまう病院が多い中、東北中央病院は他の診療科の先生にもすぐ頼れるし、外来の看護師やスタッフは経験豊富な方が多いので、自分の診療科ではわからないことも「どうしたらいいか？」と聞くとすぐに教えてくれるので、オールマイティーに動いてくれる職員が多く、働きやすい印象です。



医師としてやりがいを感じる時は？

入院して治療をした患者さんが退院後の外来で元気にされている様子を見る時が、嬉しさとともにやりがいを感じる瞬間です。また、消化器領域では症状と治療が一对で結びつかないことが多くあり、症状に悩まされている患者さんが頼りにして下さる時は、なんとか改善してあげたいと、他施設の報告等を参考に治療の選択肢を考える時もやりがいを感じます。



先生のリフレッシュ方法を教えてください

子供達と過ごす時間がリフレッシュに繋がっています。子供が3人いるんですけど、子供達の体力を削るために公園や遊び場に連れて行ったりで、休日はひたすら子供達の世話を追われています。肉体的には疲れますが、精神的にはリフレッシュできるので、家族とかかわる時間は気持ちの面での影響はすごく大きいですね。でも、休日は正直眠たくなることが多くて昼寝したくなりますけどね（笑）。



地域の医療機関の方々へのメッセージ

当診療科部長の石濱先生はじめ、先輩の先生方が内視鏡治療に関して築いてきたものは当科の強みだと思います。村山地域だけでなく、県内全域から多くの患者さんの紹介を受けていますので、診断や治療にお困りの際はぜひご相談ください。



病院NOW!

病院のいちばん HOT な
情報をお届けします

放射線機器を更新しました!

今年度の5月より一般撮影装置、外科用Cアーム型イメージ装置を更新しました。
各装置の特徴をご紹介します。

一般撮影装置：Rad speed Pro（島津社製）

オートフィルタ機能、4採光型ホトタイマが新しいX線制御機構として搭載されました。これらの機能により被ばくを抑えつつ、良好な画像が得られるようになりました。

また、X線管装置とX線撮影スタンドの高さが連動するようになり、患者さんのケアをしつつ位置決めが可能となりました。

装置本体では患者さんがぶつかる恐れのある箇所がゴムクッションで覆われているので、不意な動きでも患者さんを守る構造になっています。さらに配線がカバーで覆われ、以前の装置よりも見た目がスタイリッシュになったのも特徴です。



外科用Cアーム型イメージ装置：OEC Elite CFD（GEヘルスケア社製）



手術室に導入されたOEC Elite CFDはGEヘルスケア社独自の高速画像処理技術により、低線量でも高分解能の透視画像が観察できます。さらに4Kの大画面モニターにより視認性に優れています。

また、独自のデジタル拡大機能により、線量を増加させずに様々な倍率の拡大画像が得られます。従来よりも透視回数を減少させることができ、被ばくを低減しつつ、装置の負荷を軽減できます。

以前の装置に比べて大きな検出器が搭載されているため、透視の視野が広くなりました。これにより装置を動かす回数や距離が減ったため、透視時間の短縮・被ばくの減少に繋がっています。

主任診療放射線技師 大久保 知幸

フレッシュ・ボイス

Fresh Voice

病院にやってきたフレッシュさんのフレッシュな声を伝えるコーナーです。



看護師 さとう しんのすけ
佐藤 伸之介

《働いてみての感想は？》

私は学生の頃に看護体験で東北中央病院を訪れ、看護師になりたいと思いました。その時にとても良い病院だと感じたので就職試験を受け、勉強を頑張ってきました。今年4月に入職し、現在は病棟での看護業務を行っています。先輩方の優しいご指導の下、楽しく業務を行うことが出来ています。分からないことがあればすぐに相談できる環境であり、病棟全体でフォローして下さるため、安心して働くことが出来ています。

また、患者様から「いつもありがとうね。また明日ね。」と言葉をかけていただくことも多く、明日の仕事も頑張ろうという気持ちになり、やりがいを感じています。

《これからこんな看護師になりたい》

患者様は、入院生活を送る上で不安を抱えて過ごしています。患者様の不安な気持ちを支え、優しく寄り添い信頼性が高い看護師になりたいです。また、これからたくさんの知識と技術を身に付け、経験を積み、実践力のある看護師を目指し、頑張っていきたいと思います。

《働いてみての感想は？》

入職してから分からないことや不安なことはありますが、病棟の先輩方が優しく丁寧に教えて下さり、毎日多くの学びを得られ嬉しく思っています。同時に、少しずつできることが増えてきており、達成感を感じています。退院時に患者様から「ありがとうございます。」と感謝の言葉をいただき、とても嬉しく、看護師としてのやりがいを実感しました。

《これからこんな看護師になりたい》

患者様の苦痛や不安に寄り添い、安心して入院生活を送って頂けるような看護を提供できる看護師になりたいです。そのためにも、専門的な知識を積極的に学び、確かな技術を身に付けられるよう、一步ずつ着実に成長していきたいと考えています。患者様の苦痛と不安を少しでも和らげられるように患者様との関わりを大事にして頑張っていきます。



看護師 ふか せ こう き
深瀬 恒暉

《働いてみての感想は？》

入職したての頃は初めてのことでとても不安でした。しかし、実際に働いてみると、5階病棟は病棟全体が明るい雰囲気、また、先輩方からは「大丈夫？」と気にかけて頂き、忙しい中でも丁寧に教えてもらっています。そのおかげで、4月の頃と比べ、看護師としても成長し、とても楽しい環境で働くことが出来ているため、今はここで働けてよかったと思っています。

《これからこんな看護師になりたい》

最も大きい目標として患者様の想いに寄り添い、安心して退院できるよう支援する看護師になりたいです。そのためにも今は、知識や看護技術を身に付けること、時間管理や優先順位の判断ができること、患者様がスムーズに理解できるような伝え方を身に付けること、この3つを意識して、先輩方の背中を見ながら学んでいきたいと思っています。



看護師 さとう あんり
佐藤 あんり

《働いてみての感想は？》

実際に働いてみて、とても雰囲気のいい職場だなと感じています。日々の業務を行う中で、分からないことや不安なことが沢山ありますが、先輩方が優しく丁寧に教えて下さるので、安心して働くことが出来ています。また、患者様との関わりの中で「ありがとう。」と感謝の言葉を頂くことがあります。その言葉は励みとなり、もっと頑張ろうという気持ちになります。

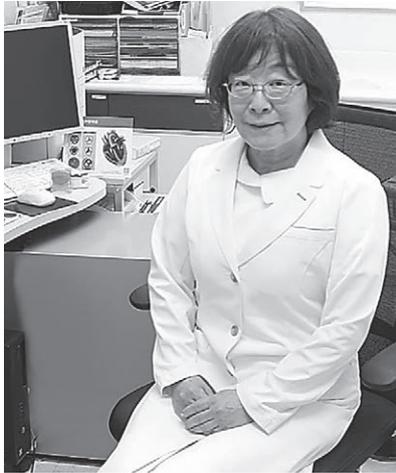
《これからこんな看護師になりたい》

患者様から退院後の生活に対する不安を聞くことがあります。患者様が安心して入院生活や退院後の生活が送れるように支援出来る看護師になりたいです。そのためにも、知識や技術をしっかりと身に付け、患者様一人一人の思いに寄り添った看護が出来るように頑張っていきます。



看護師 なわ ひより
縄 ひより

この連載では、地域医療連携でお世話になっている施設が、どんな医療を展開しておられるのか、お話を伺っています。



プロフィール

☆院長 **かとう なおみ** 加藤 直美 先生
 ☆診療科目 【内科・循環器内科・呼吸器内科】
 ☆いつ開業 平成29年9月
 ☆スタッフ 加藤直美院長
 看護師2名
 事務3名

◆受付時間◆

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	/	○	○	/
14:30~18:00	○	○	○	/	○	/	/

※木曜午前訪問診療

〒990-2172 山形市千手堂大門96-1
 Tel.023-687-1706

当院は平成29年9月に山形市北部の千手堂で、循環器科・呼吸器科として開業いたしました。医師を目指したときの「地域に根付き確かな診断と居心地の良い医療を行いたい」という思いを理念として、訪問診療も含めて、地元のお医者さんを目指しております。

循環器と呼吸器は症状も似ているため、一元化して診断ができるよう、心がけています。当院で行っている循環器の検査は、心エコー、血管エコー、心電図、24時間心電図、負荷心電図、CAVIと、非侵襲的な検査のほとんどを自院で解析も含め行っております。呼吸器は肺機能検査、呼気ガス検査、睡眠時無呼吸症候群の検査等を行っております。そして、かかりつけ患者様のプライマリケアとして発熱外来をはじめ、色々な症状を診察し、専門医への道しるべができるよう、心がけております。

東北中央病院にはCT検査の依頼、各専門医への紹介をさせていただいておりますが、連携室を通し常に迅速な対応をしていただいております。患者様からも「東北中央病院に次も紹介してもらいたい」との声を頂いております。

何より心強いのが、訪問診療を行う身として（特に一人医師のため）在宅医療後方支援病院となっておられることと、このシステムがあればこそ、在宅医療を続けていられるのだと思います。

これからも地域医療に貢献できるよう努力していく所存です。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



《コメディカルの豆知識》

1日5皿の野菜料理を食べましょう

健康を維持・増進するために、野菜は1日350g以上摂ることが推奨されています。

私たちは1日280gの野菜をとっており、70gが不足しています。野菜70gは毎日の食事にプラス1皿の野菜料理を加えることで補うことができます。野菜は緑黄色野菜・その他の野菜・海藻・きのこ類も合わせ、また旬のものがお勧めです。旬の野菜は一番栄養価が高く、その時期に身体に必要な栄養素が詰まっています。きゅうり・トマト・ナス・ピーマンなどの夏野菜には水分・カリウムを豊富に含んでいるものが多く、身体にこもった熱を身体の中から冷ましてくれます。

他にも野菜には食べ過ぎを防ぐ・腸内環境の改善・脂質の改善・血圧上昇の抑制など大切な働きをしています。普段の食生活に野菜を取り入れましょう。

新任医師紹介

令和6年4月から着任された医師をご紹介します。



氏名 ^{すぎむら} 杉村 ^{せいいち} 誠一
 診療科 整形外科
 出身地 東京都
 趣味 銭湯、サウナ

4月より赴任しました杉村と申します。これまで東北大学病院や仙台医療センターなどで勤務して参りました。火曜日、金曜日の外来を担当しますので、どうぞよろしくお願ひします。

人間ドック通信



人間ドックについてのよくある質問 Q&A



Q：どのような検診が受けられますか？

A：人間ドック（日帰り・宿泊）、脳ドック、企業検診、特定健康診査、山形市個別検診（特定検査・健康診査・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん・肺がん）、婦人科検診（乳がん・子宮がん）、個人健康診断、入学・採用時健康診断、ぶち検診などが受けられます。

Q：検診は当日受診が可能ですか？

A：検診は完全予約制です。ご予約は電話または当院受付2番窓口へお申し付けください。事前に問診票などを送付する都合上、ドックを予定されている日にちより2週間前までのご予約をお願いいたします。また、個人健康診断、入学・採用時健康診断、ぶち検診は当日受検が可能です。

Q：どのような方がドックを受検すればよいですか？

A：人間ドックは、無症状で忍び寄る生活習慣病の予防と、早期がんの発見が目的です。今まで検診を受けたことのない方など「健康」な方の病気の早期発見を目的としているので、現在通院中や経過観察中などの方は該当しません。特に40歳以上の方や健康に不安がある方、一度人間ドックを受検してみたいかでしょうか。

Q：どのような頻度で人間ドックや健康診断を受けるべきですか？

A：個人の健康状態や年齢によって異なりますが、一般的には年に1回の健康診断を受けることをおすすめしております。定期的な健康診断は、早期発見や予防のために重要です。

◎家族や知り合いの方などに検診を勧めたいが、どのような検診がよいかわからない。人間ドックのオプション検査はどのようなものがあるのか知りたい。料金や時間が知りたい。などご不明な点がありましたら、お気軽に健康管理係へお問い合わせください。

また、当院では通常料金よりお得な特別割引料金での人間ドックも期間限定で実施しておりますので、ぜひご利用ください。

東北中央病院 健康管理係
 TEL：023-623-5185・5186

編集後記

今年度1回目のDREAMINGを発行出来たことを嬉しく思います。関係各位に感謝いたします。今年の夏はパリ五輪で盛り上がりました。オリンピックでの熱い戦い・感動をありがとう。皆様、まだまだ厳しい残暑が続きますが、こまめな水分補給と栄養補給で乗り切ってください。 (R・S)

公立学校共済組合 東北中央病院

〒990-8510 山形市和合町 3-2-5
 TEL 023-623-5111 FAX 023-622-1494
<https://tohoku-ctr-hsp.com/>
 E-mail: jimu@tohoku-ctr-hsp.com

■発行責任者/田中靖久 ■編集/広報委員会

東北中央病院
 ホームページへ
GO!

ご利用の携帯端末によっては、アクセスできない場合があります。

